



県図だより

ホットニュース

第2回かごしまの歴史文化講演会 ・貴重資料紹介展



2回目の今回は、原口 泉氏(志学館大学教授)をはじめ、東川 隆太郎氏(地域フォーラムかごしま探検の会代表理事)、下豊留 佳奈氏(オフィスいろは代表)の御三方をお迎えして、天文館界限の変遷や魅力について語り合うトークセッションを開催します。あわせて、当館所蔵の郷土資料の中から講演内容に係る貴重資料の紹介展(『天文館界限今昔～史料が伝えるまちの息吹～』令和7年1月17日～2月21日)も開催します。皆様のお申し込み、御来場をお待ちしております。

【日時】 令和7年1月25日(土)午後1時25分～午後3時25分
【会場】 県立図書館1階大研修室
【定員】 180名(申込受付順)※参加費無料

【原口 泉 先生】 【演題】 『その時、天文館は…。～時代を映すまちの変遷～』

※ 講演会の申し込みについては、申込書を県立図書館へ持参・FAX(099-224-5824)していただくか、電話でもお申し込みいただけます。お問い合わせは、☎099-224-9515(資料課)へ。

図書館で探そう、調べよう! 臨時北部南西諸島時代を調べる

「戦後(昭和20～25年頃)の奄美群島の学校に勤めていた職員を知りたい」という質問がありました。学校関係者の名簿資料と言え、『鹿児島県教職員録』(鹿児島県教職員組合)や『鹿児島県学事関係職員録』(鹿児島県教育会)といった資料があります。しかしながら、徳之島や沖永良部といった奄美群島の学校に関する記述がありませんでした。当時、奄美群島は米軍支配下であり「臨時北部南西諸島政庁」の管理下であったためです。そこで、名簿等が収録されているであろう出版物は何かと考え、『公報』であれば載っている可能性があるのではないかと調査の方針を立てました。当館では鹿児島県の公報を所蔵しており、「臨時北部南西諸島政庁」時代の公報も所蔵しています。しかし、調査の規定上、職員が目視で全てのページを確認する調査は行っていません。効率的な調査方法が他にないか検討し、デジタル化された資料がWeb上にないか調査しました。すると、沖縄県公文書館のデジタルアーカイブ(<https://www.archives.pref.okinawa.jp/>)にて「臨時北部南西諸島政庁」時代の公報が収録されていることが分かりました。こちらの資料は全文検索が可能です。こちらのサイトを案内して今回の調査は終了しました。

戦争を知らない世代ですが、今回の調査で、奄美群島が日本ではなく当時、米軍占領下であったことをぐっと身近に感じました。また、レファレンスにおいて調査方針を立てる必要性や、過去の資料の重要性とそのデジタル化といったことなど様々なことを考えさせられる事例でした。

《一般図書》 12月13日(金) 新着図書案内 《児童図書》 12月22日(日)

- 牛乳から世界がわかる 酪農家になりたい君へ 小林 国一/著, 農山漁村文化協会
- 戦争と図書館 戦時下検閲と図書館の対応, 第109回 全国図書館大会講演録 新屋 朝貴/著, 浜 慎一/著, 荒木 英夫/著 日本図書館協会図書館の自由委員会/編 日本図書館協会
- 辺境のラッパーたち 立ち上がる「声の民族誌」 島村 一平/編 青土社

- しばらくあかちゃんになりますので ヨシタケ シンスケ/作・絵 PHP研究所
- 夢でみた庭 長崎 夏海/著, 佐藤 真紀子/絵 講談社
- ぼうけん図書館 エルマーとゆく100冊の冒険 永岡 綾/編著 ブルーシーブ



左の二次元コードから今月の新着資料のすべてを御覧いただけます。画面上段のプルダウンリストから館種と図書種別が選べます。お探しの分類(歴史, 文学全般 等)をお選びください。

催し物の御案内

- 貴重資料の紹介展
期間: 1月17日(金)～2月21日(金)
場所: 玄関ロビー
『天文館界限今昔～史料が伝えるまちの息吹～』皆様の御来場をお待ちしております。
- 一般閲覧室ミニ展示
1月4日(土)～1月31日(金)
「いまさら聞けない, デジタルのはなし」
急速に進むデジタル社会。今さら人に聞けない?じゃあ本に聞いてみよう! デジタルに関する本を集めました。
- 児童文化室ミニ展示
12月22日(日)～1月22日(水)
「本で旅しよう!」
本で旅行気分を味わおう! 年末年始の旅行計画を立てませんか? 「旅」に関する本を集めました。

職員をつぶやき

11月19日(火)から12月2日(月)まで本館は特別整理期間でした。利用者の皆様には御迷惑をおかけしました。この特別整理期間は本館の蔵書約93万冊について、約40人の職員が貸出中の資料を除いてきちんと所蔵されているか、状態はどうか等について点検するものです。図書館内の閲覧室から書庫まで全てのエリアを、資料のバーコードを1冊1冊読み取っていくのですが、この地道で根気のいる作業を無言で繰り返し行っていました。点検していくと、かつてのベストセラー本や鹿児島島の歴史や史跡に関する本から、県内のある学校の学級通信まで、「保存図書館」である本館の役割に気付かされると同時に、これらを適切に管理し、後世に残していく責任を痛感します。12月3日(火)から通常開館しています。きれいに整頓された書架で利用者のみなさんをお迎えしますので、図書館をぜひ御利用ください。

わが家・わたしの『宝本』

今回紹介していただいた宝本は、瀧村 有子/さく, 鈴木 永子/えの『ちょっとだけ』(福音館書店)です。

小さいときに、お母さんに読んでもらっていた、私のお気に入りの本です。赤ちゃんのお世話でいそがしいお母さん。なっちゃんが「ちょっとだけ」成功するところが大好きで、「ちょっとだけ」と、くり返し読んでいました。私も、4才のときに弟が生まれました。そして私も、「ちょっとだけ」自分のことができるようになりました。(小学4年生)



【家族からひとこと】
主人公の「なっちゃん」のところを、自分の名前に変えて読んでと、よく言っていました。4歳でお姉ちゃんになり、今では、2人の弟のお姉ちゃんになりました。たくさんがまんすることもあると思います。だけど、できることがたくさん増え、弟たちをたくさんかわいがっています。

児童文化室から

にじいろのほん『きよだいなきよだいな』
長谷川 摂子/作, 降矢 なな/絵 (福音館書店)
からのクイズです。

こどもたちは ピアノのうえで なにをした?

- ①おにごっこ ②かくれんぼ ③すべりっこ

ヒント

おいかけて つかまえるよ

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、1月13日(月)までに投入してください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどをプレゼントをします。

前回の答えは「①きしゃ」でした。たくさんのお返事ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
12月	15	16	17	18★	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31	1	2	3	4
1月	5	6	7	8★	9 YOU	10	11
	12	13	14	15★	16	17	18◆

開館時間 火曜日～土曜: 9時～21時
日曜日・祝日(自抜): 9時～17時

- は、休館日, 白抜は 午前9時～午後5時
- ★は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分～16時)
- ◆は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日14時～)
- は、学習室のみ開館 午前9時～午後5時
- ◇は、一般閲覧室新着図書の日(12月20日, 1月15日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(12月22日)
- △は、学習室と一般閲覧室の新聞・雑誌コーナーのみ開館

カバー、ページ破れ等の破損等を見つけたら、御自身で修理せずに、カウンターまでお持ちください。